

第六十四回伊東市芸術祭文学部門入選者

小説

市長賞

入月める

「凍えるプールサイド」

教育長賞

松本和彦

「メンデルスゾーンが好き」

文化協会長賞

六郷透

「うみかぜ」

随筆

市長賞

高橋明日香

「刹那の美と無限の瞬間―絵画《ダンス》が語るもの―」

教育長賞

福田美子

「山頭火が伊東にやってきた」

佳作

山田芳子

「河のほとりで」

詩

市長賞

たむらせ骨

「ディアスポラ」

教育長賞

永瀬聡子

「あじさい」

文化協会長賞

鈴木浩子

「光る白菜（道の駅にて）」

佳作

鈴木輝雄

「水平線」

短歌

市長賞

タスキかけ行つて来ますと朝礼台の師を戦場に送ったあの日

遠藤芳枝

教育長賞

佛壇に白菊活けて手を合わせあの世うつすら見えるこの頃

佐藤紫津子

文化協会長賞

大き欠伸に裡に籠れる気を吐きて親子三人みたりの食事を作る

飯島光枝

佳作

雲のごと水のごとくに身をまかせ八十路の我が我を育む

福田美子

声きけば暑さぞまさる蟬の羽の薄き衣は身にきたれども

加藤光麟

記紀開き思いを馳せる七世紀はるかな時空彷徨う時間

鈴木輝雄

花一輪ビンの中にて白き根を私生きると言うが如くに

石田光江

川柳

課題 「メモ」

市長賞

大臣は口パクメモがしゃべってる

竹内禮治

教育長賞

ジョナサンになつて空翔ぶ自由帳

竹之内勇

文化協会長賞

うぐいすの声もつけ足す農事メモ

伊藤ミサヲ

佳作

メモを見て笑うあなたを見る私

大畠賀代子

半世紀埋れ火のようメモが出て

木村壽子

料理メモ付けて売られし地場野菜

石川友江

卓上のメモが指示する妻の留守

田口敬子

テーブルへ留守のメニューをさらり置き

岩田民子

俳句

市長賞 終戦日生命^{いのち}注ぎて研ぐ包丁

杉本恵美子

教育長賞 とどまりて瑠璃色空を編む蜻蛉

下田吾亦紅

文化協会長賞 鷺立てば湖ありありと夏の山

野田あつ子

佳作 一歩づつおのが歩幅で木の芽山

岡田あつし

抱きしめてゆると括る乱れ萩

野口清美

唸りつつ健在昭和の扇風機

石川友江

夏や昔石切り舟の帆の見ゆる

小笠原保之

奔流の滝轟きて風清か

内田彩

鬼百合や記憶の奥の父の顔

三好信子

吾が影に入れてまばゆし初雪草

高橋まさる

炎天に言葉失なふ日々なりき

先本和代

息小さく吹ゐて大きなシャボン玉

三橋大吉

満天に響く華火と共振す

高木はなこ